中等部

2025 年度 中等部遠足（登山）報告

橘　隼人

本章は「2025 年度中等部登山計画書」（自由学園中等部 2025 年 6 月 13 日）および「北アルプス蝶ヶ岳を目指して」『学園新聞』2025 年 7 月 15 日の内容を再構成した。

1. 基本方針と概要

2025（令和 7）年度の中等部登山は、北アルプスの名峰・蝶ヶ岳（標高 2,677m）を目的地として実施した。創立者・羽仁もと子の「山登りは人生行路の縮図」という教えの通り、登山は単なる体力づくりの行事ではなく、個人の自律的な判断力と集団の協調性、大自然の中に身を置き神様の存在を体験的に学ぶ大切な実践の場である。事前の歩行トレーニングをはじめ、荷物のパッキング、靴紐の確実な結び方に至るまで綿密な準備を重ねて本番に臨んだ。生徒一人ひとりの体力や体調に応じ、蝶ヶ岳登頂を目指す本隊コースと、上高地周辺の豊かな自然観察・散策を中心とするコースに分かれて活動を展開した。全体の規模として、2025 年 6 月 23 日（月）から 25 日（水）までの前半ブロックには生徒 139 名とスタッフ 19 名の計 158 名が参加し、6 月 25 日（水）から 27 日（金）までの後半ブロックには生徒 83 名とスタッフ 15 名の計 98 名が参加した。

2. 組織と体制および方針

本登山の責任者は橘隼人が務めた。指導陣一同として「生徒自身が思考し、安全と仲間への配慮を優先できる主体性を引き出すこと」を指針とした。安全管理を徹底するため、全日程において専門の山岳ガイドや看護師、養護教諭が同行し、万全のサポート体制を整えた。また、本学園が大切にする自治運営の精神に基づき、生徒リーダーおよび各専門係（自然、交通、装備、宿泊、衛生、食、記録）が組織された。生徒たちは事前準備から本番まで全ての工程で自発的に呼びかけを行った。登山中も前線と後方での声掛け伝達や相互の体調確認を徹底することで、隊列全体の安全とスムーズな行程維持に大きく貢献した。

3. 気象条件の違いに伴う行程と活動の様子

今年度の登山では前半ブロックと後半ブロックで天候に大きな差が生じ、それぞれの気象条件に応じて行程や判断に違いが見られた。前半ブロック（6 月 23 日～25 日）は晴天に恵まれ、第 1 日に上高地から梓川沿いを経て宿泊地の徳澤園へと移動した後、第 2 日には予定通り長塀山を経由して蝶ヶ岳山頂へのアタックを行った。視界が開け澄み切った青空の下、山頂からは雄大な槍・穂高連峰の絶景をはっきりと望むことができ、生徒たちは厳しい急登を乗り越えた達成感を胸に絶景を堪能した。一方、後半ブロック（6 月 25 日～27 日）はあいにくの悪天候に見舞われ、雨や濃霧、急激な気温低下という厳しい条件下での行動となった。安全を最優先に配慮し、雨具を着用して足元や視界の悪さに最新の注意を払いながらの歩行となった。山頂付近では視界が遮られる場面もあったが、安全なタイミングを見極めつつ慎重に行程を進めた。第 3 日には、前半・後半ともに徳澤園から明神を経由して上高地バスターミナルまで下山し、無事に学園へ帰着した。天候の違いによる行程の変化はあったものの、それぞれの状況下で最善の安全対策が講じられた。

4. 生徒の学びと成果

本登山の取り組みを通じて、生徒たちは日頃の学校生活では味わえない深い学びと成長の機会を得た。晴天に恵まれた前半ブロックの生徒からは、「目の前に広がる槍・穂高の絶景を見たとき、登りの辛さが吹き飛んだ」「仲間と声を掛け合って山頂に立てたことが何よりの思い出になった」という声があがった。一方で雨中の登山となった後半ブロックの生徒からは、「雨の中で体温を奪われないよう装備を管理することの難しさと大切さを学んだ」「悪条件だったからこそ、お互いに『足元に気をつけて』『大丈夫？』と声を掛け合う絆がより深まった」といった感想が聞かれ、気象状況に応じた実践的な学びが得られたことがうかがえた。また、「自分の体調や荷物を管理することの大切さを身に染みて

学んだ」という声もあり、自然の厳しさと向き合う中で自己管理能力を培う機会となった。生徒たちも係や班での仕事を通し、行事の成功に大きく貢献し、集団の中での責任感を高めた。大自然の美しさと厳しさに触れ、仲間とともに困難を克服したこの体験は、生徒一人ひとりの心に確かな自信と深い絆を残すものとなった。

5.登山の様子(写真)



5–1　山頂直前の様子



5–2　山頂での景色



5–3　山頂での様子①



5–4　山頂での様子②



5–5　山頂で集合写真(後半)



5–5　徳澤園での夕食



5–6　徳澤園での夕食



5–7　登山中の様子①



5–10　散策チーム集合写真



5–8　登山中の様子②



5–11　河童橋散策



5–9　徳澤園前集合写真



5–12　雨の中の下見